

郡上市長 日置 敏明 様

# 提 言

平成28年12月15日

郡 上 市 議 会

### 1. 人口減少問題に特化した積極的な取り組みについて

人口減少問題は郡上市の喫緊の課題であり、全国的にも強力で押し進めている模範的自治体もある。マリアージュ郡上などが婚活問題に積極的に取り組んでおり、全国からも注目されているところではあるが、個人情報の問題もあり、相談員に重圧がかかりすぎているように感ずる。

今後の取り組みとしては、より多くの市民も参加して取り組んでいく組織の構築や、婚活支援事業、移住定住事業、空き家対策、過疎辺地の地域振興を総合的に進める体制が必要と考える。十分な予算を組む中で様々な企画を提案し、この問題に積極的に取り組まれない。

### 2. 高速通信への対応とケーブルテレビの番組の充実について

ケーブルテレビの光化を喫緊の課題として検討しなければならない。八幡町と白鳥町の市街地は民間の光通信が整備されてきているが、市内では整備されない地域へも光化が望まれると同時に、そのことが企業のランチ誘致につながると思われる。

さらに、ケーブルテレビの番組は、市民一体となって興味のあることに取組まなければ明るい未来はない。環白山の連携やユネスコエコパークの活用など、他のケーブルテレビとも連携を密にしていくことも重要であるので、広く市内外の情報を獲得するためのスタッフの増員を検討し、維持・発展していく施策を講じられたい。

### 3. 自主防災組織の充実・強化について

地域の防災を担う消防団とともに、それを補完する各地域の自主防災組織の充実も重要と考える。防災を中心としたコミュニティー作りが大切であり、自治体も地域協議会もそこに力点を置くべきと考える。各自主防災組織には防災士、市民救護員の確保、さらにはHUG（避難運動訓練）の実践などの積極的な取り組みが必要と考える。

そのためには、現在は非常時の対応を、総務部総務課危機管理係が担当しているが、各自主防災組織の現状を評価して、理想とする自主防災組織を目指してランクアップしていくように支援や仕組みづくり、防災対応の強化など防災全般を統括する防災安全センターを設置し、危機管理体制を充実されたい。

### 4. 合併特例債の有効活用による市の基盤拡充について

合併13年目に入り、財源として有利な合併特例債も平成29・30年度の2カ年限りである。当市の産業・生活基盤の更なる拡充・整備を図るべく、この特例財源を余すことなく有効活用できるよう、新年度以降の予算に配慮されたい。

## 5. みんなでやрмаいか！郡上の元氣・やる気条例について

みんなでやрмаいか！郡上の元氣・やる気条例に従って、施策を展開されたい。

(産業建設常任委員会)

### 1. 郡上八幡城の耐震化調査及び登山車道の改良並びに石切り場方面からのアクセス道の新設について

近年、郡上八幡城の popularity が高まり訪れる観光客が増加しているが、登山車道は幅員が狭いうえ急カーブが多く、登城することを躊躇される方もみられ、リフトやゴンドラ施設の設置要望もある。なお、以前に登山車道や街路灯の整備が進められたが、現在では道路の損傷も多く見られる。

より安全に多くの方に登城していただけるよう、郡上八幡城の耐震調査を迅速に進め、損傷している登山車道を早急に修繕し、城山トンネル北側（石切り場）からのアクセス道路と駐車場の新設を検討されたい。

### 2. 長良川鉄道市内駅舎周辺の観光開発整備と活性化の促進について

長良川鉄道市内駅舎周辺が観光の一拠点となるよう開発整備を促進し、観光客の滞留を図るため、市民の力「市民力」地域の力「地域力」と行政とが一体化、連携して、地域の活性化につながる政策に取り組まれたい。

### 3. 郡上産コシヒカリを世界農業遺産も活かし郡上米としてのブランド化を推進

世界農業遺産に『清流長良川の鮎』が認定されたことを踏まえ、その清流長良川の上流域で丹精込めて生産された美味しい郡上産コシヒカリを、市内の一大特産物『郡上米』としてブランド化し、販売強化を図られたい。

### 4. 第三セクター経営について、横軸での協力体制強化を推進

合併前に組成された各第三セクターにおいては、時を経るに従い経営環境や経営状況が変化し、組成当初の経営計画から逸脱された状況、もしくは将来経営が厳しい状況に至ると予想されるものについて、先を見越した手立てを講ずる必要があると考える。

特に経営環境の変化による経営手法や経費について、市が主体的かつ同じ角度から専門の知識を用いて経営検証を行うことが喫緊の課題であり、その上で各第三セクター相互における共助体制を構築するとともに、統合策を含めた方針を打ち出されたい。

1. ALL郡上での市内高校の維持・発展への取り組みについて

市内高校の2校体制維持のため、PTAなど教育関係者だけでなく、産業界など幅広い関係団体と課題を共有し、県への要望活動を早急に行われたい。

2. 子育て支援と人口減少対策について

出産（不妊治療の支援を含む）から高校までの手厚い子育て支援とともに、所得要件を緩和した奨学金を準備し、少子化対策及びUターンの促進を図られたい。

3. ICT教育の環境整備について

- ICTを活用した教育の推進のため、以下の項目に留意し積極的に行われたい。
- ・PTA連合会からの要望を踏まえ、学校間に進捗の差がないように整備し、市内全ての生徒がICTを活用した教育効果をいち早く実感できる環境を整備されたい。
  - ・ICT教育の効果を最大化させるための教員への支援に努められたい。

4. 福祉施設の計画的な改修について

学校施設の耐震化が完了したが、デイサービスセンターをはじめとする老朽化率の高い福祉施設の改修等を今後計画的に進められたい。

5. 医師の受け入れ環境の整備について

医師不足の現状の中で、持続的な地域医療を確保するために、医師住宅の整備や女性医師の働きやすい環境を整備されたい。

6. 災害時弱者への支援について

- 災害時の要配慮者への支援を充実するため、以下の項目を早急に取り組みられたい。
- ・災害時避難行動要支援者の個別支援計画を作成されたい。
  - ・避難者カードの項目を、緊急時に早急な対応が可能となるように充実されたい。
  - ・行政視察先の経験によると、災害時の要配慮者向けの避難物資が不足したとのことであった。再点検し、充実されたい。

7. 文化財の保護について

郡上のシンボルと言える郡上八幡城（天守・石垣）を先人の遺産として後世に継承するため、早急な耐震調査・耐震化に取り組み、災害に対する備えを万全にされたい。